学校番号	3021

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎」自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	2020 最新 生活ハンドブック 資料&成分表　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組もう。
・学習形態は講義・演習形式・実験・実習等多様な形態をとる。
・生活のいろいろな現象・課題をワークショップ形式で考える。まず、自分での考えをまとめて発表し、それぞれの意見を共有し、よりよい解答を導き出す。その意見を班でまとめ全体で発表する。また、１／２以上は実験実習の授業である。多くの体験学習を通して自立した生活が営める自分を育てる。
・多様な学びを通して、感性を磨き、多様性受容力を鍛える。（人権感覚を育む）
・生きる力を身につけ、命を育むことができる朗らかな心身を仲間とともに育てていこう。

2　学習の到達目標

・生活のしくみと現実を、個人の生活内にとどまることなく、地域や社会、歴史的な変化を含めた総合的なとらえ方ができるようにする。
・身近な生活の中から課題をみつけ、問題解決のために、あらゆる方面から情報を収集し分析する能力を養う。
・高校で学ぶすべての教科学習内容を実際の生活の場で活かせるようにする。
・自分の人生や共に生きる人々との生活が、よりよいものとなるための真摯な努力ができるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊エンカウンターグループワーク ○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ＊自己を知る ○目標をもって生きる ＊将来の生活を展望する	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	ささえあって生きる	○家族・家庭を見つめる ＊家族法クイズ ＊サイレントオークション ＊ワークショップ ○これからの家庭生活と社会	○ ○	○ ○	○	○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

前期	子どもと共に育つ	★この単元は1年間にわたって学習する ○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活（衣食住）と保育 「子どもの被服」 ＊おむつを科学する 「子どもの食事」 ＊離乳食実習 「子どもの安全」 ＊潜在危険 住まいの衛生・安全チェック ＊子ども部屋を考える ○子どもを取り巻く環境 ＊遊び・絵本を考える ﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟｶｰﾄﾞ製作 ＊親子にｲﾝﾀﾋﾞｭｰしよう ＊親学習 （ □ 囲みの部分は、後期に実施）	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d：子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 観察記録表 定期考査
	高齢社会を生きる	○高齢社会の現状と課題 ○高齢者の心身の特徴 ○高齢者の暮らし 高齢者の方のお話を聞く ＊「高齢社会を生きる」 ○高齢者を支える社会のしくみ	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 聞き書きﾚﾎﾟｰﾄ 発表 定期考査
		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b：生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c：計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

前期	共に生き、共に支える	○よりよく生きるためにはどうしたらいいだろう？ ・私たちの生活と福祉 ○現代日本の抱える問題を生活者の視点（子育て支援、高齢者・障がい者福祉、貧困、防災・減災、社会保障　等）で捉える前期の学びから総合的に考える新聞記事を読み解く ＊調査研究、グループ発表	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a：共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c：地域で行われているコミュニティ活動や NPO 活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技術を身に付けている。 d：共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価 定期考査
後期	食生活をつくる	○食生活の管理と健康 ○食事と栄養・食品 ・何をどれだけ食べたらいいのか？ ○食生活の安全と衛生 ○日本人は何を食べてきたか？ ○日本の食問題 ○調理の基礎 ＊調理実習3回 （10 月～2月）	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 写真 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査

後期	衣生活をつくる・子どもと共に育つ	○被服の機能と着装 何をどう着るか ＊自分に似合う色とは？ ○被服の管理と計画 ＊界面活性剤のはたらき ＊衣服を自分で直そう ○これからの衣生活 ※似合う色以外は前期乳幼児の衣食住で学ぶ ○交流授業（親子にインタビューしよう）の事前学習 ○子どもを取り巻く環境 ＊遊び・絵本を考える ﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟｶｰﾄﾞ製作 ＊親子にｲﾝﾀﾋﾞｭｰしよう ＊親学習	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a：被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d：被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 定期考査
		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊お正月を科学する 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b：生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c：計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価
	住生活をつくる・子どもと共に育つ	○住まいは暮らしの器 ・安全で快適な住居 ＊住宅広告を読む ・ライフステージにあった住居 ○子どもを取り巻く環境 ＊子ども部屋を考える	○	○	○	○	a：住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d：住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習ﾚﾎﾟｰﾄ 定期考査

後期	経済生活を営む・生活を設計する	○賢い消費者になる ・消費行動と意思決定 ・キャッシュレス社会のメリット・デメリット ・消費者の権利と責任 ・18 歳成人問題 ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性 ○成熟した社会とは（共生経済について考える） ・持続可能な社会をめざしたライフスタイル ○生涯を見通す ・自分のめざすライフスタイルとは？ ・生涯を見通した生活設計 ＊一年の振り返り・より良く生きる	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。